

令和4年9月12日 基地周辺対策特別委員会 議事録
9時57分 開会

○出席委員 (8人)

委員長 北地 範久

副委員長 児玉 朋也

委員 末広 天佑、小中 真樹雄、中川 智之、和田 芳弘、山崎 年一、
寺岡 公章

議長 賀屋 幸治

副議長 網谷 芳孝

○欠席委員 なし

○北地委員長 皆さん、おはようございます。定刻より少し早いようですが、定足数に達しておりますので、ただいまより会議を開きます。

開会に当たり、市長に御挨拶をいただきたいと思います。

市長。

○入山市長 基地周辺対策特別委員会開催ありがとうございます。よろしくお願い申し上げます。

○北地委員長 ありがとうございます。

それでは、日程にしたがって進めさせていただきたいと思います。

まずは、日程1、執行部報告事項についてを議題といたします。

執行部から報告をお願いいたします。

報告が長くなるようでしたら、着座でも結構です。

課長。

○田中危機管理課長 それでは、お手元に配付しております資料1から資料4によりまして、阿多田地区航空機騒音状況についての定例の報告をいたします。

まず、資料1を御覧ください。

こちらは、阿多田地区における日常の航空機の騒音状況について、阿多田島漁協の職員の方をお願いをいたしまして、御自身や住民の方が感じたことの実情等について、記載をお願いしているものでございます。5月から7月までの間のものとなっております。今回、合計で24件の記録が残されております。

この報告内容につきましては、毎月防衛省のほうに騒音苦情の実態といたしまして情報提供をするとともに、騒音対策への配慮と、訓練等の情報提供についてお願いをしているところでございます。

続きまして、3ページの資料2を御覧ください。

こちらは、阿多田島漁協の屋上に防衛省が設置しております騒音自動測定器で測定した航空機等が飛来した際の音をデシベル値で表したものとなっております。1日単位、発生時間別で集計した結果となっております。こちら5月から7月までの内容でござい

す。

90デシベル以上となったところ、こちらが黄色いマーカーの表示のところでございますが、これを数えてみますと、5月中が45回、6月中が28回、7月は26回ということで、3カ月の合計が99回となります。

前回御報告いたしました2月から4月までの3カ月合計、こちらは223回でございますので、比較しますと半分以下に減少しているという状況です。こういった傾向は、昨年度も同じような形で見られております。

しかしながら、昨年度の5月から7月の合計、こちらが51回でございます。比較すると2倍近くに増加しているということになっております。正確な因果関係は分からないのですが、6月以降、外来機が岩国基地に飛来いたしまして、訓練のため7月21日まで一時展開をしていたということも影響しているのではないかと推察されるところです。

続きまして、10ページの資料3です。

こちらは、防衛省が岩国基地の周辺地市町25カ所に設置しております騒音測定器から計測された値を、うるささ指数に変換して集計しているものです。こちら全て中国四国防衛局のホームページ上に掲載されておるものです。

10ページから12ページまでの表、こちらは月別の平均値を掲載したもので、令和4年4月から7月分が表示されております。

13ページから21ページまでが、5月から7月までの毎日の計測結果を表した表となっております。

大竹市の測定地点は、ナンバー7の阿多田島漁業協同組合とナンバー9のサントピア大竹です。こちらの表の月別のL d e nというのが、この表で言うと3段になっておりますけど1番上の段ですが、これで見ますと平均値ですが、測定地点のうち居住地に該当するものを比較してみますと、阿多田島が毎月最も高い数値を示しているという状況でございます。

続きまして、22ページの資料4です。こちらを御覧ください。

こちらが、先ほどの資料3のW値というところ、これの月別平均値を折れ線グラフで表したものとなっております。ナンバー7の阿多田島とナンバー3の岩国基地の北側でございます、岩国市三笠町東中学校の数値を比較したのとなっております。

データの見方ですが、緑色の線が平成20年度で、滑走路の沖合移設前。青色の線が平成28年度で、沖合移設後。黄色の線の令和元年度と、赤色の線の令和3年度が空母艦載機移転後の計測値の比較となっております。令和4年度につきましては、4月から7月までですが、黒い線で示されております。

昨年度と比較してみますと、5月までは昨年度よりやや低い値を示しておりましたが、6月、7月はこれまでで最も大きな値を示しているということが分かります。

定例の資料によります報告は以上でございますが、その他報告についても続けて報告いたしますでしょうか。

○北地委員長 はい。

○田中危機管理課長 よろしいですか。

それでは、その他報告事項2点ございまして、まず、1つ目の住宅防音工事対象区域の見直しについて説明いたします。これは、配布資料は今回用意しておりませんが、前回の委員会で岩国飛行場の第1種区域等について、騒音の実態を即したものに見直すため、騒音度調査が令和4年度から令和5年度にかけて行われる予定であるということをご報告いたしました。

去る8月4日、中国四国防衛局の防音対策課の方が来庁されまして、1年目の騒音度調査業務の着手、こちらが11月頃からになるということ、また、新たな自動騒音測定装置の納入設置業務を11月末までに行うということにつきまして、概要説明がありました。本件につきまして、今後、新たな情報が得られましたら、委員会で御報告したいと考えております。

続きまして、その他報告事項の2つ目でございます。

山口県住宅環境改善支援事業補助金についてでございます。前回の委員会で、住宅防音工事ですね、こちらについて岩国市と和木町で、山口県への交付金を活用した支援策があるのではないかとというような御質問をいただきました。確認してみました結果、令和元年7月から山口県が実施しております住宅環境改善支援事業補助金というもので、これは岩国基地への米軍空母艦載機の移駐による騒音が懸念される地域での定住促進のため、岩国市の一部、和木町と周防大島町の全域を対象区域として、エアコンや断熱サッシの取り付け、取り替えについて30万円を上限として補助金を交付するという制度であることが分かりました。

この補助金ですが、防衛省の再編関連特別地域整備事業を活用したものとなっております。山口県のホームページに掲載されておりましたこの資料を23ページと24ページで資料5として掲載しております。対象となる工事であったり、上限額の詳細でございますが、24ページ、こちらに記載されておりますので内容についてはこちらを御確認いただきたいと思います。

以上で、報告を終わります。

○北地委員長 ありがとうございます。

それでは、ただいま報告事項ございましたが、騒音の関係と調査の関係、補助金のご報告も、ただいまの御報告いただいた件につきまして、よく分からない点などございましたら質疑を認めます。

質疑はございませんか。

副議長。

○網谷副議長 すいません、ちょっと教えてください。今回、騒音関係の住宅環境改善支援事業補助金のご報告なんですが、これ山口県となつてくるんですが、大竹市の阿多田島も大変厳しい環境の中であるのですが、大竹市は入ってないですか。要望がないから入ってないのですか。どうなんですかねと思って。ちょっとその辺のところ、これに準ずるといふことならそれでいいのですが、ちょっと教えてください。

○北地委員長 課長。

○田中危機管理課長 こちらの再編関連特別地域整備事業の交付金、こちらが基地所在地の

都道府県単位での交付ということになりまして、確かに騒音被害、対岸で非常に被っては
おるのですが、山口県にしか下りないというものでございました。

以上です。

○北地委員長 部長。

○佐伯総務部長 少し補足をさせていただきます。

この山口県の対象区域というのが、第1種区域、第2種区域から外れるところ
です。ですから、1種区域、2種区域に阿多田島は入っておりますので、こちらの補助金とは関係
がないといえますか、従来の防衛省の補助金で対応できるというものでございます。

○北地委員長 よろしいですか。

確認します、これは県に対する補助金ですよ。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○北地委員長 他に質疑はございませんでしょうか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○北地委員長 ないようでございますので、以上で、日程1については終了といたします。

続きまして、日程2、その他についてを議題といたします。

それでは、議長のほうから報告をお願いいたしたいと思います。

議長。

○賀屋議長 おはようございます。

私のほうから、以前この委員会で委員長から、再編交付金に替わる米空母艦載機部隊配
備特別交付金という名前で、今年度から交付をされてるわけですけど、その中身の説明と、
また、再編後の騒音測定の検証に伴う、先ほども話ありました住宅防音工事対象区域見直
しの件について、中国四国防衛局のほうから説明に来ていただけないだろうかという、機
会がほしいというお話がありましたので、それを受けて中国四国防衛局のほうと相談をし
ておりましたけども、来ていただくということになりまして、9月21日の、9月定例会最
終日でございますが、中国四国防衛局の職員さんに来ていただいて説明をしていただく
ということになりましたので、御報告をしておきます。

場所は、この委員会室で時間は15時からということで設定をさせてもらっております。

1時間ぐらを目安としております。

8月23日に開催されました各派代表者会議において、この時には議員全員協議会で説明
を受けることになるかもしれないという話をしておりましたけども、中国四国防衛局のほ
うから、ざっくばらんに意見交換ができる場のほうがいいという申し出もありましたので、
議長主宰の勉強会ということで開催をすることにいたしました。勉強会なので、基地周辺
対策特別委員会の委員だけでなく、全議員に参加をしていただければというふうに思っ
ております。また、業務に支障のない範囲で、執行部の皆さんも参加をいただければとい
うふうに思います。

以上、よろしくお願ひしたいと思ひます。

私のほうから報告を終わります。

○北地委員長 ありがとうございます。

議長のお骨折りをいただきまして、勉強会という形になりましたので、議長が言われるように皆さんもぜひ参加をお願いいたしたいと思います。

ありがとうございました。

そのほか何かございますでしょうか。勉強会についての質問でございますけども。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○北地委員長 ないようでございますので、以上で日程2については終了といたします。

以上で、全ての日程を終了いたしましたので、基地周辺対策特別委員会を終了いたします。どうもありがとうございました。

10時11分 閉会